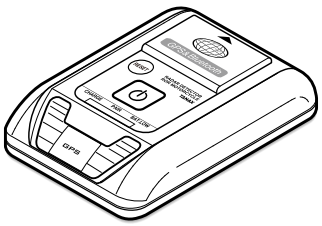
オートバイ用レーダー探知機本体

Bluetooth

VZ-7100

取扱説明書



適 合 車両から充電する場合は DC12V 車で電源が安定している事。

この度は「オートバイ用レーダー探知機本体 VZ-7100 」をご購入いただき誠にありがとうございます。
この取扱説明書は製品を正しく安全にご使用いただく為に取付及び操作手順が説明されております。
正しくご使用いただく為に本書をよくお読みいただき、安全にご使用ください。また、この取扱説明書は常にお手元に保管くださいますようお願い申し上げます。

目　次

1.特 長 …… 2
2.ご使用上の注意 …… 3~4
3.梱包内容 …… 5
4.各部の名称 …… 6
5.ご使用にあたって …… 7~9
　1 充電の方法 …… 7
　　1)ローバッテリーサイン …… 7
　　2)AC100V 用充電器をご使用の場合 …… 7
　　3)DC12V 用充電コードをご使用の場合 …… 8
　　4)ヒューズの交換 …… 9
　2 外部出力について …… 9
　3 GPS 機能について …… 9
6.Bluetoothについて …… 10~11
　1 Bluetoothの概要 …… 10
　2 Bluetoothについての注意 …… 10
　3 Bluetoothの用語 …… 11
　　1)『ペアリング』とは …… 11
　　2)『プロファイル』とは …… 11
　　3)『PINコード』とは …… 11
　　4)『クラス』とは …… 11
7.ペアリングを行う …… 12
　1 適合の確認 …… 12
　2 ペアリングの手順 …… 12
8.取付方法 …… 13
　1 ミラー部への取り付け …… 13
　2 ガソリンタンクへの取り付け(直付けの場合) 14
　3 ポケットに入れてご使用の場合 …… 15
　4 タンクバッグに入れてご使用の場合 …… 15
　5 カウルへの取り付け …… 16
　6 ガソリンタンクへの取り付け(カウルステー使用の場合) 17
9.操作方法 …… 18~19
　1 オートパワーオフ機能とは …… 18
　2 オートパワーオフ機能を使用する場合 18
　3 オートパワーオフ機能を使用しない場合 19
　4 リセットスイッチについて …… 19
10.取締りの種類と方法 …… 20~22
11.警告について(レーダー) …… 23
12.警告について(GPS) …… 24~25
　1 オービス警告 …… 24
　2 Nシステム警告 …… 25
　3 警察署案内 …… 25
　4 サービスエリア・パーキングエリア案内 25
13.警告について(6バンド) …… 26~29
　1 6バンド受信について …… 26
　2 カーロケ受信 …… 27
　3 取締り用連絡無線(350.1MHz) …… 28
　4 署轄系無線受信 …… 28
　5 デジタル無線受信 …… 29
　6 WIDE(ワイド)無線受信 …… 29
　7 警察活動無線受信 …… 29
14.その他の機能 …… 30
　1 AAC(オートアラームカット)機能 …… 30
　2 ATD(オートトーンダウン)機能 …… 30
　3 時報機能 …… 30
15.製品仕様 …… 31
16.補修パーツのご紹介 …… 31
17.故障かな?と思ったら …… 32~33
18.本品に関するご連絡・ご相談先 … 33

TANAX

1.特　長

1 オートバイ専用ポータブル設計
バッテリー内蔵で配線が不要のポータブル型。タンクバッグやウエアのポケットに入れて使用する事もできます。
※DC12V 用電源コードを接続している時は防雨構造ではありません。

2 Bluetooth を内蔵
各警告をライダーに発信する電波に Bluetooth を採用。警告の種類に合わせた分かりやすい音声と警告音で、クリアで快適な警告通信を可能にしています。
●市販の Bluetooth 通信機等と接続可能。多数の機器を持つ必要がありません。
●本製品は Bluetooth 受信機が付属していません。Bluetooth 通信機をお持ちでない方の為に、Bluetooth レシーバー単体もご用意しています。

■**VZ-7200 オートバイ用 Bluetooth レシーバー**(Bluetooth レシーバー単体) / 定価オープン
※市販イヤホン (Φ2.5 ㎜ステレオ) で音声警告を聞く事もできます。但し、音声の出力はモノラルです。
※充電しながらのご使用や、防水性が落ちる為雨中でのご使用はできません。

3 GPS 機能搭載で確実警告
「Global Positioning System」の略称で、衛星電波を利用することによって位置情報を把握するシステムです。この GPS 機能により今まで対応できなかったループコイル式、LH システム式等の取締機の位置情報を記憶させることにより事前に警告可能になりました。

4 GPSポイント(オービス４識別＋６識別の警告＆案内)
二輪用にセレクトした GPS ポイントを 10 種類に分かりやすくセレクト。
〈 オービス 4 種類 〉
①レーダー式　②ループコイル式　③H システム式　④LH システム式
〈 その他のポイント 6 種類 〉
①N システム　②パーキングエリア　③サービスエリア　④警察署　⑤信号無視監視機　⑥取締ポイント

5 レーダー波５段階＋ステルス
●基本のレーダー波を 5 段階で分かりやすく警告。　●ステルス機型電波を識別し、専用の警報でお知らせ。

6 6バンド無線受信
6種類の電波をセレクトし、不要な電波をカットします。
〈 対応する無線 〉
①カーロケ波　②デジタル無線　③署活系無線　④ワイド無線　⑤警察活動無線　⑥350.1MHz 取締無線

7 4種類の設置方法＋2種類の専用ステー付属
●ミラーステー付属でバックミラーに取り付けできます。
●カウルステー付属でカウル、タンク平面上にも取付けできます。
●直接ガソリンタンクに取り付けできます。
●ポータブルなのでポケットにも入れられます。

8 大容量リチウムポリマーバッテリーを搭載
1050mAh のバッテリーを搭載し、長時間の駆動を実現しました。
※参考連続作動時間 10 ～ 12 時間 (使用状況によって異なります。)

9 突然の雨にも慌てない防雨設計。
防雨設計として IPX6 相当の性能。※完全防水ではありませんので、雨天での長時間のご使用等は避けてください。

10 その他の機能
●AAC (オートアラームカット機能)
時速 40km 以下の時は煩わしい警報をカットします。
●ATD (オートトーンダウン機能)
約 15 秒間警報が鳴り続けた場合、警報音をミュートします。
●時報機能
GPS 受信している場合一時間毎に時報をお知らせします。
●オートパワーオフ機能
振動のない状態が続くと、自動的に電源が切れる省電力設計です。

2.ご使用上の注意

ご使用の前にこの「ご使用上の注意」をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。また、注意事項には危害や損害の大きさを明確にする為に、誤った取扱いにより生じることが想定される内容を「警告」「注意」で表示しています。

⚠ 警告	この表示の内容を守らないと、死亡や大ケガなどの人身事故の原因となります。
⚠ 注意	この表示の内容を守らないと、ケガや車両、製品に損害を与える恐れがあります。

⚠警告

■本製品を分解、加工、改造などを行わないで下さい。火災、感電、故障などの原因となる場合があります。本製品は電波法による小電力データ通信システムとしての認証を受けている無線機ですので、分解、加工、改造等は電波法違反等として処罰の対象となる場合があります。また、保証期間内でも保証対象外となるばかりでなく、修理等をお断りする場合があります。
■運転者は走行中に本製品を絶対に操作しないでください。重大な交通事故の原因となります。
■本製品は運転や視界の妨げにならない場所に取り付けてください。また、二輪車の機能 (エアバッグやメーター等) の妨げにならないように取り付けてください。事故やケガの原因になる場合があります。
■配線はカウルやフレーム等などに挟み込まないように取り回してください。ショートや漏電等があると製品の破損、車両火災等を起こす可能性があります。
■指定の充電器以外のご使用はお止めください。製品の破損、火災等を起こす可能性があります。
■本製品が万一破損、故障した場合はすぐに仕様を中止してください。そのままご使用になると火災、感電等の原因となります。
■本製品を医療機器の近くで使用しないでください。電波により医療機器に影響を与える恐れがあります。
■この製品はオートバイ乗車中に使用する事を前提に設計されています。その他の目的で使用しないでください。特に航空機内でのご使用や、心臓ペースメーカー近くでのご使用は電波の影響が深刻ですのでお止めください。

⚠注意

■本製品の近くに他の GPS 機能を持つ製品を放置しないでください。誤作動を起こす可能性があります。
■GPS 衛星の電波を受信できない下記の様な場所では、本製品の GPS 機能が働かないため、GPS による警報、表示が正常に働きません。(トンネル、地下道、建物の中、ビルなどに囲まれた場所、鉄道や道路の高架下、木々の多い森の中等)
■レーダー本体は防雨設計となっておりますが、洗車機等で故意に水をかけることや、雨中での長時間のご使用を避けてください。
■レーダー本体は端子キャップを閉めた状態のみ防雨効果を発揮しますので、普段は閉めてご使用ください。
■電波式の自動ドアや信号機の近くに設置されている車両通過計測器等は、取締りレーダー波と同じ電波を使用しているため、本製品のレーダー受信機能が働くことがあります。あらかじめご了承ください。(マイクロ波のドップラー式自動ドア、マイクロ波のドップラー式車両通過計測器、NTT のマイクロウェーブ通信回路の一部、気象用レーダーの一部、航空レーダーの一部、湾岸レーダーの一部、大出力の違法 CB 無線等)
■金属物及び金属を含んだ塗料の製品が前方や上方にある所に本製品を設置しないでください。遮へい物があると GPS 衛星やレーダー波の電波が受信できない場合があります。
■本製品は電子部品を使用した精密機器ですので、落下等の強い衝撃をあたえないでください。故障の原因となります。
■本製品を取り付けての違法行為 (速度違反等) に関しては製品動作の有無に関わらず弊社では一切の責任を負いかねます。日頃からの安全運転に心がけてください。
■本製品を飲酒運転の取締りを回避する目的で使用しないでください。
■本製品が警告案内できるのは、レーダー波、6 バンド無線、GPS で登録されているポイントに限ります。光電管や GPS で登録されていないポイントには反応しません。

※本機を取り付けてのスピード違反等に関しまして、弊社では一切の責任を負いかねます。日頃からの安全運転を心がけてください。

その他の注意

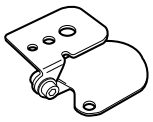
■本製品は日本国内でのご使用に限ります。海外での使用及び輸出はできません。
This product is limited to use only in japan. Use in foreign countries and export are not possible.
■本製品の仕様及び外観は、改良の為予告無く変更する事があります、ご了承ください。

保証について

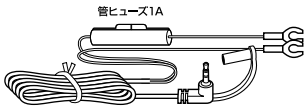
■本製品にはお買い上げの日から1年間の製品保証が付いています。(ただし内蔵電池、両面テープ等の消耗品は保証の対象になりません。) 保証書 (化粧箱側面) 又はレシートは保証を受ける際に必要となりますので、必ずお手元に保管されるようにお願い申し上げます。(保証書を使用する場合は切りはなしてご使用ください。)
■保証は製品に対してのみとなります。着脱や検査、修理等に発生した工賃・代車費用等は保証しかねます。あらかじめご了承ください。
■本製品の故障による代替品の貸出は弊社では行っておりませんので、ご了承ください。

3.梱包内容

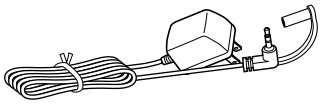
本体（1台）

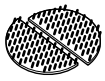

カウルステー（1セット）

ミラーステー（1枚）
※補修パーツ名：アンテナベース



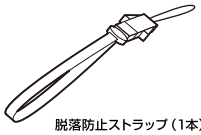
DC12V 用充電コード（1個）


AC100V 用充電器（1個）


デュアルロック（粗）（2枚）

デュアルロック（細）（2枚）

両面テープ（3枚）


脱落防止ストラップ（1本）

バンドタイ（5本）

コードストッパー（2個）

M8 ワッシャー（1個）

ワンタッチコネクター（1個）

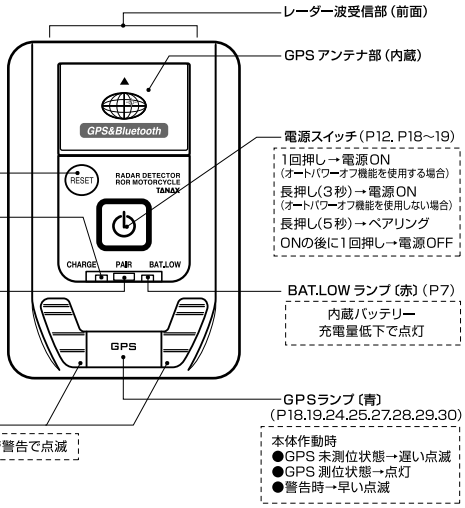
六角レンチ（1本）

取扱説明書（1冊）

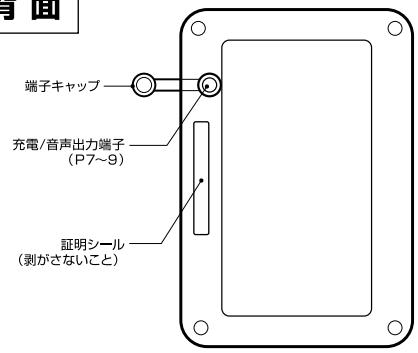
4.各部の名称

レーダー本体

上面



背面



5.ご使用にあたって

本製品はバッテリーを内蔵しているポータブルタイプの GPS レーダー探知機です。
また DC12V を電源にする事も可能です。

ご使用前に必ず充分な充電を行ってください。

本製品は商品出荷時には検査用予備充電のみされており、長時間充電しないとバッテリーが自然放電します。
初めてご使用になる時は必ず付属の AC100V 用充電器か、DC12V 用充電コードを使用し、充電してください。

1 充電の方法

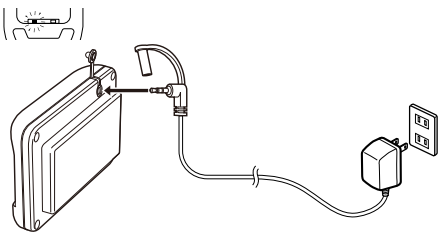
1) ローバッテリーサイン

内蔵バッテリーの充電量が低下した場合、2段階の表示でお知らせします。

内蔵バッテリー状態	機能・ランプ	アナウンス	
		レーダー本体	レシーバー
充電 20%以下	BAT.LOW ランプ点灯	——	——
充電 10%以下	全受信機能を停止 全ランプ消灯	”ピー”	”ピー”

2) AC100V 用充電器をご使用の場合

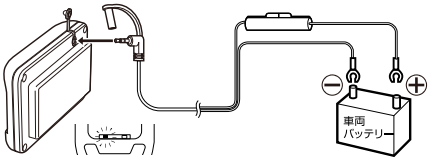
①製品本体の充電 / 音声出力端子にAC100V 用充電器のプラグを奥まで差し込みます。
②充電器をコンセントに差し込みます。
③CHARGE ランプ〔緑〕が点灯します。
④CHARGE ランプ〔緑〕が消灯したら満充電です。
⑤コンセントから AC100V 充電器を外し、本機の充電 / 音声出力端子よりプラグを外して下さい。



3) DC12V用充電コードをご使用の場合

●バッテリー直接配線の場合

①DC12V 用充電コードを車両バッテリーの⊕と⊖端子へ接続し、本体を取り付けたい所の近くへ取り回しておきます。
②充電端子に DC12V 用充電コードプラグを差し込みます。
③CHARGE ランプ〔緑〕が点灯します。
④CHARGE ランプ〔緑〕が消灯したら満充電です。



⚠注意

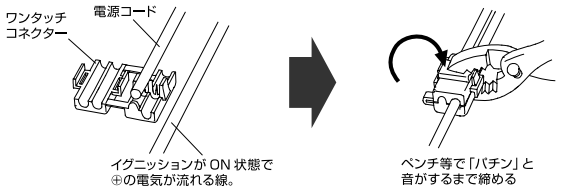
※長時間ご使用にならない時は本体からコードを外してください。
※本体を外した時は、ショートの恐れがある為DC12V用充電コードのキャップを閉めてください。
※振動の多い場所等でオートパワーオフ機能が働かない場合、バッテリーが上がる恐れがあります。その場合電源スイッチを OFF にしてください。

●車両の従来コードへの途中結線をする場合

①車両の配線からイグニッションが ON の時に常に⊕の電気が流れている配線を探してください。
※安定して 12V が出ている電源をご使用ください。電気式メーター等から誤って配線すると故障の原因となります。
②充電コードのヒューズから先の⊕ライン端子を切り落とし、上記配線に付属のワンタッチコネクターにて確実に接続してください。
③充電コードの⊖ラインはボディーアースしてください。
④製品本体のジャックに DC12V 用充電コードプラグを奥まで差し込みます。
⑤CHARGE ランプ〔緑〕が点灯し、充電が開始されます。
⑥CHARGE ランプ〔緑〕が消灯したら満充電です。

ワンタッチコネクターの使い方

接続するコードを並べてコネクターで挟み込みます。

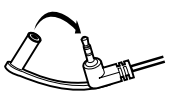


⚠注意

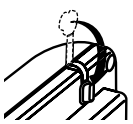
ウィンカー、ポジションランプ、ヘッドライト等はスイッチ操作により消灯する車両があります。配線図やテスター等で確認してください。

⚠警告

※本体よりジャックを外した時は必ずキャップを閉め、金属などに触れないように収納してください。

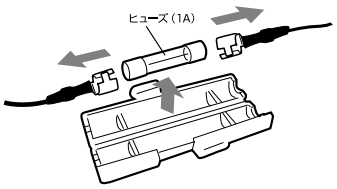


※本体はキャップを閉めた状態で防水効果を発揮します。雨天時や充電をしないときはキャップを必ず閉めてください。



4) ヒューズの交換

白いケースを外し、端子を左右にずらして
ヒューズを交換してください。



⚠警告

※ヒューズは必ず使用してください。ヒューズを使用しない接続は、ショートなどの異常が起きた時に火災の原因になる事があります。
※ヒューズの容量は変えないで下さい。

2 外部出力について

●本製品は Bluetooth 受信機が付属していません。Bluetooth 通信機をお持ちでない方の為に、レーダー探知機と Bluetooth レシーバーのセット、Bluetooth レシーバー単体も併せてご用意しています。また下記仕様の市販 Bluetooth 通信機もご使用頂けます。

○対応プロファイル・・・・・HSP
○PIN コード・・・・・・・・・・『0000』（ゼロが４つ）

3 GPS 機能について

●GPS とは

「Global Positioning System」衛生軌道上の人工衛星から発信される電波により、地上での現在位置を計測するシステムです。

●GPS 測位機能の警報システム

衛星からの電波を受信して現在位置、移動方向、移動速度を算出し、あらかじめ登録してある各データ（座標データ等）とを比較演算し、接近すると警報を行います。

●衛星受信開始時間 / 受信復帰時間

GPS レシーバーの電源オンから衛星受信を行う迄の時間と走行中、トンネル、高架下、屋内等で一時的に GPS 衛星が受信できない場所から、受信できる場所へ移動した時、再受信する迄多少時間がかかります。（高架下やトンネル等にオービスがある場合は衛星受信ができず、警報が行えない場合がありますので注意してください。）

●GPS 測定誤差について

本製品の測位計測機能は衛星の受信状態等により、約 50m 程度の測定誤差が出る場合があります。

●GPS 衛星受信と車載テレビチューナー

車載テレビ等を使用していると GPS 衛星を受信できない事があります。そのような場合、車載テレビ等のチューナー部から離し GPS 衛星の受信に影響のない箇所へ本製品を取り付けてください。

6. Bluetoothについて

1 Bluetooth の概要

◆Bluetooth とは、2.4GHz 帯の電波を使用した近距離デジタル無線通信規格です。パソコンや周辺機器、携帯電話、家電や医療機器など様々な分野でのデータ通信に利用されています。Bluetooth を利用する事により、クリアで混信が少ないワイヤレス通信が可能です。

◆本製品は、各警告をライダーに発信する電波に Bluetooth を採用。警告の種類に合わせた分かりやすい音声と警告音で、クリアで快適な警告通信を可能にしています。また、市販の Bluetooth 通信機等と接続可能になり、多数の機器を持つ必要がありません。

◆本製品は Bluetooth 受信機が付属していません。Bluetooth 通信機をお持ちでない方の為に、Bluetooth レシーバー単体も併せてご用意しています。

■VZ-7200 オートバイ用 Bluetooth レシーバー（Bluetooth レシーバー単体）/ 定価オープン
※市販イヤホン（Φ2.5 ㎜ステレオ）で音声警告を聞く事もできます。但し、充電しながらのご使用や、防水性が落ちる為雨中でのご使用はできません。
※全ての Bluetooth 機器との組合せで動作を保証するものではありません。接続する相手機器の仕様により、正しく動作しない場合があります。

2 Bluetooth についての注意

◆本製品は Bluetooth を利用する事により、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備の認証を受けています。この為、本製品をご使用頂く上では無線に関する免許は不要です。
ただし、下記の行為は電波法違反等として処罰の対象となる場合があります。

●本製品を分解、加工、改造等をする事
●本製品に貼り付けられている証明ラベルを剥がす事
●日本国外への持ち出し、および使用する事（各国で法律、規定、認証制度等が異なります。）

また、本製品が使用している 2.4GHz 帯の電波は Bluetooth 以外に電子レンジなどの家電や産業機器、科学機器、医療機器、無線 LAN やアマチュア無線なども使用しています。これら機器への誤作動や電波干渉を防ぐ為、下記注意事項をお守りください。

●近くでこれら機器が使用されていない事を確認してください。
●万一これら機器と電波干渉があった場合は、速やかに使用場所を変えるか、または本製品の使用を中止してください。（電波の発射を中止）

3 Bluetooth の用語

1)『ペアリング』とは

Bluetooth 機器は、接続しようとする機器同士をあらかじめ登録する必要があります。この登録をペアリングと呼びます。
一度ペアリングをすれば次回からは電源を入れるだけで使用できますが、以下の場合は再びペアリングを行う必要があります。

◎修理をした場合など、ペアリング情報が消去された時
◎本機を別の Bluetooth 機器とペアリングをする場合
◎一度ペアリングした機器が、ペアリング情報を消去した場合
◎一度ペアリングした機器が別の機器とペアリングして、再び接続したい場合

また、ペアリングを行った機器以外は通信できません。したがって、ペアリングした以外の機器へ通信内容を知られる心配がありません。

2)『プロファイル』とは

Bluetooth 機器には、その機器の種類によって規定があり、これをプロファイルと呼びます。

例）**HSP**・・・・携帯電話やパソコン等とイヤホンマイク等に使われる、音声の通信を行うプロファイル
A2DP・・・音楽プレーヤー等とヘッドホン等に使われる、音楽データの通信を行うプロファイル

Bluetooth を使用する為には、ペアリングする機器同士が同じプロファイルを持っている必要があります。また、そのプロファイルの機能しか使用できません。

本製品は、**HSP**です。

3)『PIN コード』とは

Bluetooth 機器では、ペアリングをする際にお互いが暗証番号を入力する必要があります。この番号を PIN コードと呼びます。
（PIN コードはパスキー、PIN ナンバー、パスワードなどと呼ばれることがあります。）

この PIN コードが合わないと、同じプロファイルを持っていてもペアリングができません。携帯電話のように番号ボタンと液晶が有る機器は任意で入力できますが、本製品のような機器の場合は入力ができません。その為、その機種固有の番号があらかじめ登録されていて、ペアリング時に自動的に PIN コードを入力します。

本製品の場合、PIN コードは『**0000**』（ゼロが4つ）になっています。ペアリングを行おうとしている機器の PIN コードをあらかじめご確認頂き、同じ PIN コードである事を確認してください。

4)『クラス』とは

Bluetooth には、電波の出力の大きさを規定して、クラス１～３に分かれています。
それぞれ通信ができる範囲が異なります。

クラス	電波強度	通信距離
Class 1	100mW	約 100m
Class 2	2.5mW	約　10m
Class 3	1mW	約　1m

ただし、異なるクラスの機器同士を接続した場合、下のクラスの範囲までしか通信できません。

例）Class１と Class２を接続した場合・・・Class2 の範囲（約 10m）まで
Class１と Class３を接続した場合・・・Class3 の範囲（約 1m）まで
Class2 と Class３を接続した場合・・・Class3 の範囲（約 1m）まで

本製品は **Class2** ですので、通信可能な範囲は約 10mです。
※通信範囲は基準値です。周囲の電波状況や障害物の有無などにより変化する場合があります。

7. ペアリングを行う

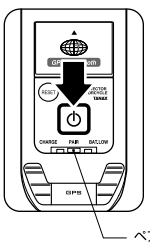
1 適合の確認

ペアリングする相手機器の仕様を確認してください。
○プロファイル：HSP
○PIN コード：0000（ゼロが４つ）

2 ペアリングの手順

①近くに他の Bluetooth 機器が使用されていない事を確認して下さい。
②本機の電源が入っていない状態で、本機の電源ボタンを長押ししてください。
約5秒後にペアリングランプが赤と青の交互点滅になったら、ボタンを離してください。

ペアリングランプが赤と青の交互点滅になるまで長押し。（約５秒）



③受信側機器をペアリングモードにして、本機の近くに置いて下さい。（約 1m以内）
※受信機側の取扱説明書を参考に操作してください。

④ペアリングが正しく完了したら、本機から"ピッ"と確認音が鳴り、ペアリングランプが青の点滅になります。受信側機器と正しく接続されているか確認してください。

※5分経ってもペアリングが完了しなかった場合は、ペアリングモードが終了しペアリングランプは赤の点滅になります。相手機器の Bluetoot 仕様を改めて確認してください。

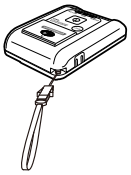
⚠注意

●全ての Bluetooth 機器との組合せで動作を保証するものではありません。接続する相手機器の仕様により、正しく動作しない場合があります。
●本機はモノラル出力です。受信機側がステレオ出力機でもモノラルにて出力されます。
●本機の出力クラスはクラス２（約 10m）です。受信機側がクラス１（約 100m）でもクラス２の範囲外では接続できません。（通信が切れます。）
●受信機側で PIN コードの入力を求められる場合があります。その場合は「0000」を入力してください。

8. 取付方法

取り付けの前に

●運転や視界の妨げにならず、車両の機能に影響の無い場所に取り付けてください。
●GPS アンテナ上方向に遮へい物があると GPS 衛星からの電波が受信できない場合があります。取り付け位置には充分注意してください。
●取り付けの際はなるべくレーダー本体が道路に対して水平に、レーダー受信部を進行方向へ向けて取り付け、前方に金属の障害物が無いようにしてください。（プラスチック製のカウル等、電波を通すものは○金属物は ×）
●付属の両面テープ、デュアルロックは接着後24時間で接着力が最大となりますので、それまで荷重を かけないようにしてください。
●貼り付け部分の汚れや油分を良く拭き取ってから作業してください。
●レーダー本体の落下防止には、付属のストラップ等をご使用ください。



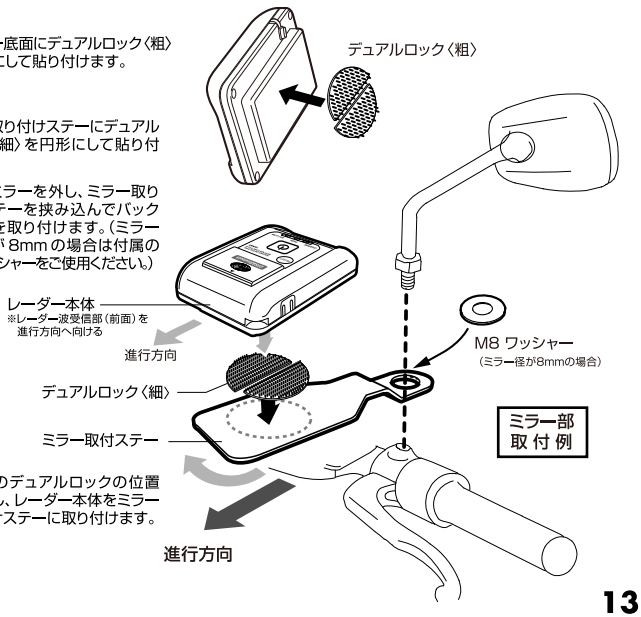
1 ミラー部への取り付け

①レーダー底面にデュアルロック〈粗〉を円形にして貼り付けます。

②ミラー取り付けステーにデュアルロック〈細〉を円形にして貼り付けます。

③バックミラーを外し、ミラー取り付けステーを挟み込んでバックミラーを取り付けます。（ミラーボルトが 8mm の場合は付属の M8 ワッシャーをご使用ください。）

④お互いのデュアルロックの位置を確認し、レーダー本体をミラー取り付けステーに取り付けます。



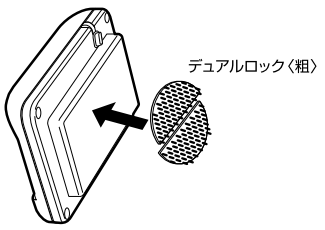
2 ガソリンタンクへの取り付け（直付けの場合）

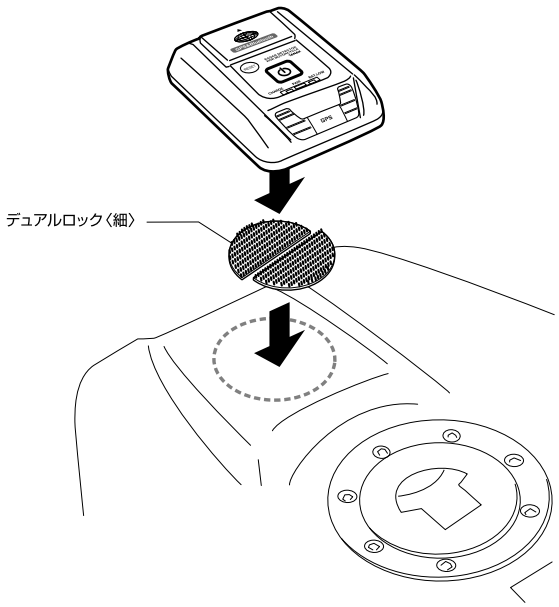
①レーダー底面にデュアルロック〈粗〉を円形にして貼り付けます。

②ガソリンタンクにデュアルロック〈細〉を円形にして貼り付けます。

③お互いのデュアルロックの位置を確認し、レーダー本体を進行方向へ向けて取り付けます。

※取付け位置によっては障害物により受信感度が落ちる事があります。





3 ポケットに入れてご使用の場合

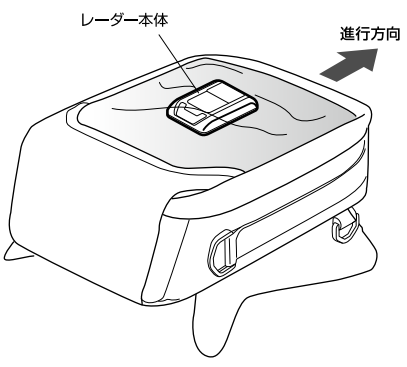
●レーダー本体を胸ポケット等に入れてご使用ください。その際にレーダー受信部をなるべく上向きに入れる事をお勧めします。
※レーダー感度は水平に取り付けた状態と比較して若干悪くなります。

※レーダー受信感度はオートバイの車種やライディングポジションによって異なります。

4 タンクバッグに入れてご使用の場合

●レーダー本体をタンクバッグ（マップケース等）に入れてもご使用できます。その際には受信部を進行方向に向けて収納してください。

※レーダー受信感度はオートバイの車種やライディングポジションによって異なる事があります。
※荷物と一緒にバッグの中に入れると受信出来ない場合があります。



5 カウルへの取り付け

①レーダー本体底面にデュアルロック〈粗〉を円形にして貼り付けます。

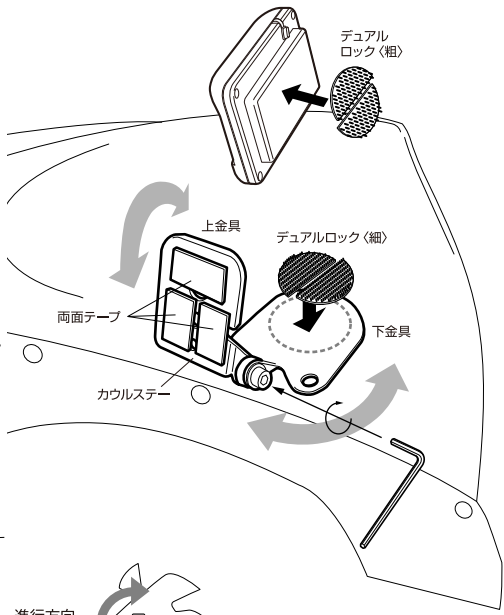
②カウルステーの下金具にデュアルロック〈細〉を円形にして貼り付けます。

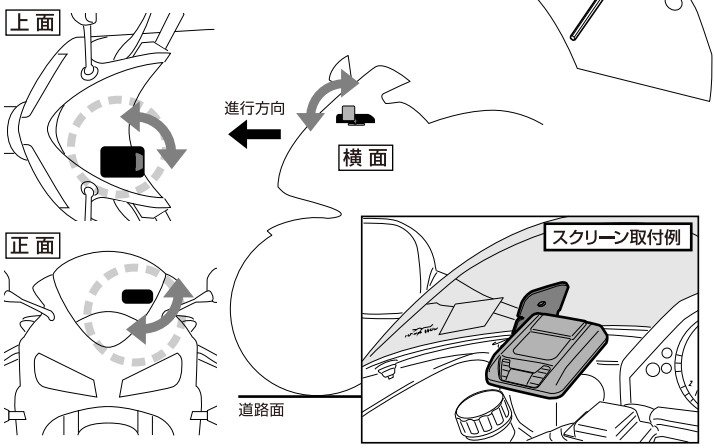
③カウルステーの上金具に両面テープを貼り付けます。

④カウル面のなるべく平らな面を選び上金具が進行方向へ向くように両面テープで貼り付けます。

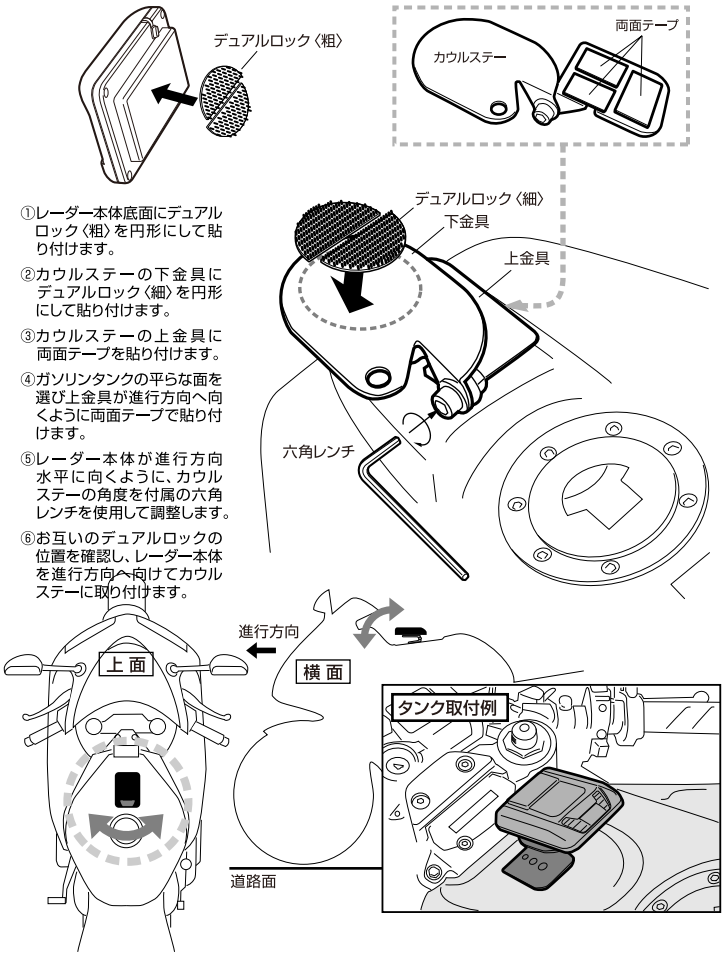
⑤レーダー本体が進行方向へ水平に向くように、カウルステーの角度を付属の六角レンチを使用して調整します。

⑥お互いのデュアルロックの位置を確認し、レーダー本体の前後を確認してカウルステーに取り付けます。





〈 6 ガソリンタンクへの取り付け（カウルステー使用の場合）〉



①レーダー本体底面にデュアルロック〈粗〉を円形にして貼り付けます。

②カウルステーの下金具にデュアルロック〈細〉を円形にして貼り付けます。

③カウルステーの上金具に両面テープを貼り付けます。

④ガソリンタンクの平らな面を選び上金具が進行方向へ向くように両面テープで貼り付けます。

⑤レーダー本体が進行方向水平に向くように、カウルステーの角度を付属の六角レンチを使用して調整します。

⑥お互いのデュアルロックの位置を確認し、レーダー本体を進行方向へ向けてカウルステーに取り付けます。

9. 操作方法

1 オートパワーオフ機能とは

車両振動を検知して、エンジン停止で振動の無い状態が続くと約５分後に自動的に電源が OFF になります。ただし、エンジン始動や振動を検知した場合でも自動的に電源は ON にはなりません。

⚠注意

※振動や騒音の激しい場所に駐停車している場合は、本製品が振動を検知して電源 OFF にならない場合があります。その場合は電源スイッチで電源をお切りください。

※車種や取付方法によっては振動検知が行えずオートパワーオフ機能が働く場合があります。その場合は、再度電源を ON にするかオートパワーオフ機能を使用しないでください。

2 オートパワーオフ機能を使用する場合

①電源スイッチを１回押します。
Bluetooth 受信機を使用する場合は電源を入れてください。

②GPS ランプが点滅し始め、本機から “ピピッ” と確認音が鳴ります。

③GPS 衛星を受信すると GPS ランプが点灯し、受信側機器 から「GPS を測位しました。○月○日○曜日です。」と音が鳴ります。

④電源スイッチをもう一回押すと「ピピピピッ」と音が鳴り電源が切れ GPS ランプが消灯します。

⑤振動の無い状態が続くと約5分後に自動で電源がOFFになります。

操　作	GPS ランプ	音　声	
		レーダー本体	受信側機器
電源スイッチを 1回押す	遅い点滅 【GPS 未測位状態】	” ピピッ”	” ピッ” 本機と受信側機器の接続確認音
	点　灯 【GPS 測位状態】		「GPS を測位しました。○月○日○曜日です。」
再度 電源スイッチを 1回押す	消　灯	” ピピピピッ”	
振動が無くなり 約5分後にOFF	消　灯		” ピー”

※受信側機器の仕様により音声が途切れたり、聞こえない場合があります。

3 オートパワーオフ機能を使用しない場合

※車両振動を検知して電源を OFF にする機能は働きませんので、本製品を使用しない時は電源スイッチで電源をお切りください。切り忘れるとバッテリーが上がる恐れがあります。

※電源を OFF にするとオートパワーオフ機能が働いている状態にもどります。

①電源スイッチを約３秒長押ししてください。
Bluetooth 受信機を使用する場合は電源を入れてください。

②GPS ランプが点滅し始め、本機から “ピピピッ” と確認音が鳴ります。

③GPS 衛星を受信すると GPS ランプが点滅から点灯に変わり、受信側機器から「GPS を測位しました。○月○日○曜日です。」と音が鳴ります。

④電源スイッチもう一回押すと ”ピピピピッ” と音が鳴り電源が切れます。

操　作	GPS ランプ	音　声	
		レーダー本体	受信側機器
電源スイッチを 3秒長押し	点　滅 【GPS 未測位状態】	” ピピピッ”	” ピッ” 本機と受信側機器の接続確認音
	点　灯 【GPS 測位状態】		「GPS を測位しました。○月○日○曜日です。」
再度 電源スイッチを 1回押す	消　灯 【GPS 未測位状態】	” ピピピピッ”	

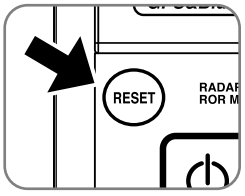
※受信側機器の仕様により音声が途切れたり、聞こえない場合があります。

4 リセットスイッチについて

ペアリングが上手く認識しない、ボタン操作が効かない等がありましたら、リセットスイッチを押すことにより全ての強制的に電源を切ることが出来ます。

⚠注意

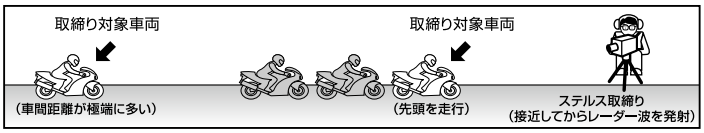
※ペアリング情報が全て消去される場合があります。



10. 取締りの種類と方法

ステルス式取締り方法（有人式取締り）

取締り対象の車両が取締り機の近くに接近してから、レーダー波を発射する狙い撃ち的な取締り方法です。走行車両の先頭や、前方走行車との車間距離が極端に長い場合等に測定されるケースが多く、100m 以下の至近距離でレーダー波を受信する場合もあり、注意が必要です。



レーダー式取締り方法

レーダー波を常時発射し、通過する車両の速度を測定します。また、オービス式の場合は違反車両を自動的に写真撮影します。多くの取締り現場に採用しており、レーダー波も 500m 以上の距離から受信する事ができます。また、オービス式であれば本製品に位置データが登録してある場合、最長約 1km より警報を行います。

H システム式取締り方法

レーダー波を間欠発射し、通過する車両の速度を測定し違反車両の写真撮影を自動で行い警察本部の大型コンピュータへ専用回線で転送されます。レーダー波も 500m 前後で受信します。また、本製品に位置データが登録してある場合、最長約 1km より警報を行います。

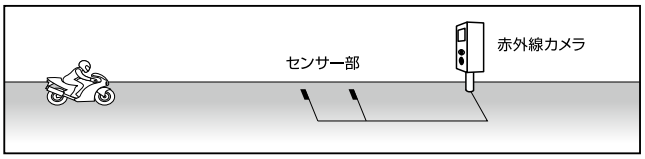
移動オービス式 / パトカー車載式

ワンボックス車の後部にレーダー式オービスを搭載し違反車両を取締る移動オービスと、パトカーの赤色灯を改良して取締り機を搭載したパトカー車載式があります。

⚠注意	移動オービスでは、本製品で探知できない光電管式もあります。

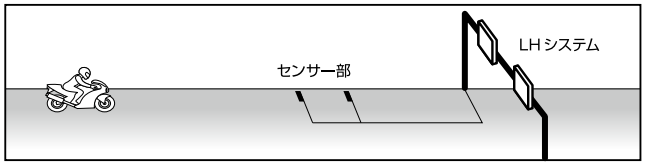
ループコイル式取締り方法

測定区間の初めと終わりに磁気スイッチ（金属センサー）を路面下等に埋め込み、通過時間から速度を算出し、違反車両の写真を撮影します。本製品に位置データが登録してある場合、最長約1kmより警報を行います。



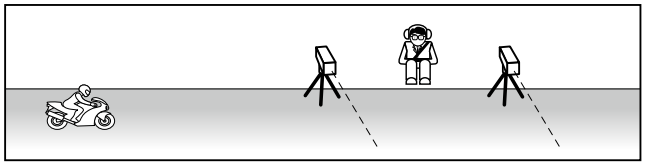
LHシステム式取締り方法

速度計測部がループコイル方式で違反車両の写真撮影はHシステム方式の取締り機です。
本製品では位置データが登録してある場合、最長約1kmより警報を行います。



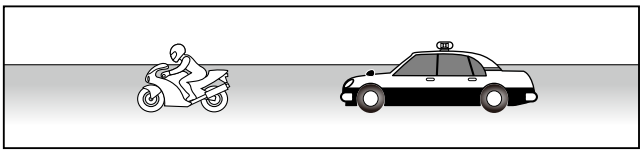
光電管式取締り方法（有人式取締り）

2点間に置かれたセンサーの通過時間から速度を算出し、違反車両を特定します。
※この取締りに対して警告する事ができません。予めご了承ください。



追尾式取締り方法

パトカー、覆面パトカー、白バイ等が一定の車両間隔を保った状態で後方を追尾し走行速度を測定し、記録します。　※この取締りに対して警告する事ができません。予めご了承下さい。

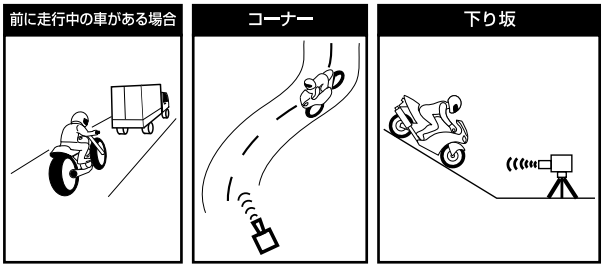


電波の発射方法や周囲の環境・条件などにより、電波を受信しにくいことがあります。

●前を走行している車（特に大型車）がある場合、コーナー、坂道等では、電波が遮断され、探知距離が短くなる場合があります。スピードの出やすい下り坂では特に注意してください。

●対象の車が近くに来るまで、電波を発射しない狙い撃ち的な取締りが出来るステルス型のスピード測定装置があります。

●電波式の自動ドアや、信号機の近くに設置されている車両通過計測器等は、取締りレーダー波と同じ電波を使用している為、反応するのは避けられません。いつも鳴っているから大丈夫と安心せず、注意して運転をしてください。



11. 警告について（レーダー）

●レーダー式取締り機の発する電波を受信した場合、下記の様に警報を行います。
●音と光のダブルアラーム方式で分かりやすく警告します。
●取締りレーダー波発信源への接近に合わせて音と光が変化します。

通常のレーダー波受信の場合	レーダー式取締機迄の距離	遠い ⟶ 近い
	警告音	”ピ” 5段階 ”ピピピピピ”
	ワーニングランプ	遅い点滅 ⟶ 早い点滅
ステルス波受信の場合	音　声	”ステルス波を受信しました ピピピピピピッ”
	ワーニングランプ	早い点滅

⚠注意

※レーダー警告中の場合でもGPS警報を優先して行います。
※レーダー警告中に6バンド（カーロケ無線、デジタル無線、取締り用連絡無線（350,1MHz）、署轄系無線、ワイド無線、警察活動無線）を受信しても6バンド無線の警報は行いません。
※ステルス波はその性質上距離的余裕をもって警告する事ができません。ステルスアームが鳴った時はすでに計測されている事がありますので、くれぐれも単独、先頭走行での速度の出し過ぎにはご注意ください。

12. 警告について（GPS）

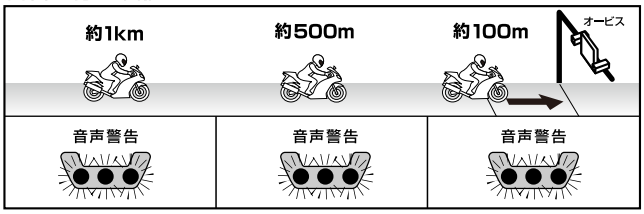
1 オービス警告

●オービスポイントに接近した場合、下記のように警告を行います。

⚠注意

※対向車線上のオービスへの警告は行いません。
※警告を行う距離は、対象とするオービスからの直線距離です。道路の高低差、カーブの大きさ等によって実際の走行距離と異なる場合があります。また、近くの平行する道路等を走行中の時も警告を行う場合があります。
※道路種別には「一般道路」と「高速道路」があります。カメラ位置は「正面」「右側」「左側」があります。
※GPS電波が受信できていない状態では、GPS警告ができません。
※GPS測位している場合であっても登録されてない場合は警告できない場合があります。あらかじめご了承ください。
※高架下等のGPS測位状態が悪い場所では、正しく機能しない場合があります。
※トンネル又はトンネルを出た所等にあるオービスがある場所は衛星受信が出来ず、警告が行えない場合がありますので、ご注意ください。

警告を行う距離



オービス警告の内容一覧

オービス種類		約1km手前	約500m手前	約100m
ループコイル	音　声	”ボーン”「1km先一般道路ループコイルがあります。注意してください。」	”ボーン”「500m先一般道路ループコイルがあります。注意してください。」	”ボーン”「カメラは正面です。」
	ランプ	早い点滅		
Hシステム	音　声	”ボーン”「1km先一般道路Hシステムがあります。注意してください。」	”ボーン”「500m先一般道路Hシステムがあります。注意してください。」	”ボーン”「カメラは正面です。」
	ランプ	早い点滅		
LHシステム	音　声	”ボーン”「1km先一般道路LHシステムがあります。注意してください。」	”ボーン”「500m先一般道路LHシステムがあります。注意してください。」	”ボーン”「カメラは正面です。」
	ランプ	早い点滅		
レーダー式オービス	音　声	”ボーン”「1km先一般道路レーダー式オービスがあります。注意してください。」	”ボーン”「500m先一般道路レーダー式オービスがあります。注意してください。」	”ボーン”「カメラは正面です。」
	ランプ	早い点滅		
信号無視抑止システム	音　声	”ボーン”「1km先一般道路信号無視抑止システムがあります。注意してください。」	”ボーン”「500m先一般道路信号無視抑止システムがあります。注意してください。」	”ボーン”「カメラは正面です。注意してください。」
	ランプ	早い点滅		
取締ポイント	音　声	”ボーン”「1km先一般道路取締ポイントがあります。注意してください。」	”ボーン”「500m先一般道路取締ポイントがあります。注意してください。」	―――
	ランプ	早い点滅		

2 Nシステム警告

Nシステムとは?

犯罪捜査における手配車両の追跡等の為、自動車のナンバープレートを自動で撮影する装置の通称です。

	約500m手前
音　声	"ポーン"「この先一般道路Nシステムがあります。」
GPSランプ	早い点滅

⚠注意　※警報を行う距離は、対象となるNシステム/からの直線距離です。道路の高低差、カーブの大きさ等によっては実際の走行距離と異なる場合があります。

3 警察署案内

本製品に登録されている警察署付近に接近するとお知らせします。

	約500m手前
音　声	"ポーン"「左方向」「右方向」「一般道路警察署があります。」
GPSランプ	早い点滅

※進行道路上の警察署だけでなく近くの道路にある警察署も警告します。

4 サービスエリア・パーキングエリア案内

全国の高速道路にあるサービスエリア又はパーキングエリアの位置情報を予め本製品に登録してあり、サービスエリア又はパーキングエリアに接近(約1km手前)するとお知らせします。

		約1km手前
サービスエリア	音　声	"ポーン"「1km先高速道路サービスエリアがあります。」
	GPSランプ	早い点滅
パーキングエリア	音　声	"ポーン"「1km先高速道路パーキングエリアがあります。」
	GPSランプ	早い点滅

13. 警告について(6バンド)

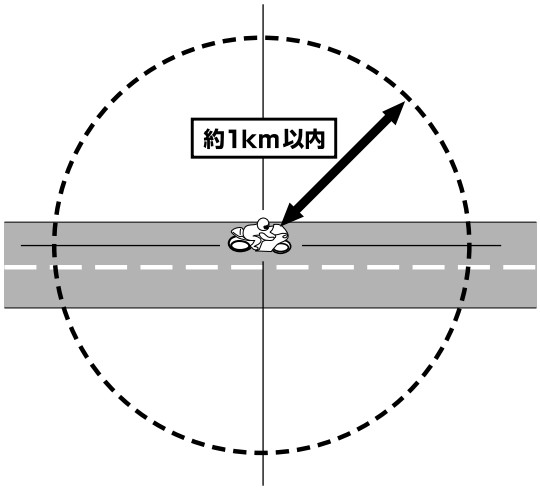
1 6バンド受信について

●本製品はカーロケーターシステム無線、デジタル無線、取締り用連絡無線(350,1MHz)、署轄系無線、WIDE(ワイド)無線、警察活動無線を受信することができます。
●ワーニングランプは反応しません。

⚠注意　※放送局や無線中継局の近くを通過する時、強い電波の影響により誤作動する場合があります。また、VHF帯の放送局の近くを通過する場合はデジタル無線の受信をする場合があります。

6バンド受信距離設定

受信種類	受信距離
カーロケ／350.1／デジタル／署轄系／警察活動無線／W.I.D.E(ワイド)	約1km以内

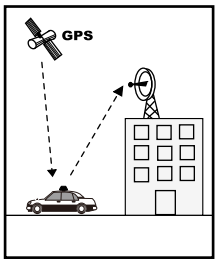


⚠注意　※受信感度(距離)は直線見通し距離で、間に障害物が無い状態での受信距離目安です。使用状況、走行状態、製品取り付け位置、周囲の環境(電波状況)によって受信感度(距離)が変わる場合があります。

2 カーロケ受信

カーロケーターシステム とは?

カーロケーターシステムとは「無線自動車動態表示システム」といい、緊急車両に装備されたGPS受信機より算出した位置データを無線で定期的(間欠)に各本部の車両管理センターへ送信するシステムです。



⚠注意
※カーロケーターシステムは新システムへの移行が全国的に進んでいます。現在は受信できる地域でも、今後新システムへ移行し受信できなくなる可能性があります。新システムのカーロケは受信できませんので、あらかじめご了承ください。
※カーロケーターシステムの電波は間欠で送信される為、実際の緊急車両の接近と受信のタイミングにズレが生じる事があります。
※緊急車両の走行状態(緊急走行、通常走行、駐停車など)によって、カーロケ電波の送信タイミングが変わる事があります。また、場合によっては送信を止めることもありますので緊急車両の接近と受信のタイミングにズレが生じる事があります。
※電波の中継局、受信本部付近では、緊急車両の接近に関わらず受信する事があります。
※本製品が受信するカーロケーターシステムは、白バイ、救急車、消防車等には現在導入されておりません。

カーロケ受信電波の状況によって遠近識別警告を行います。

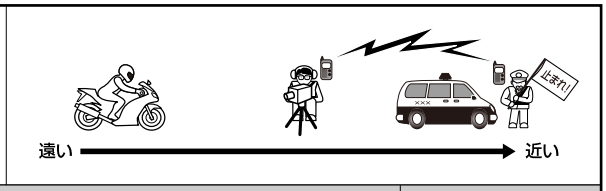
発信源との距離				一度カーロケ電波を受信して、弱いカーロケ電波を受信した場合
受信状況	弱いカーロケ電波を受信した時	中くらいのカーロケ電波を受信した時	強いカーロケ電波を受信した時	
音　声	"ポーン"「1km以内カーロケ無線を受信しました。」	"ポーン"「500m以内カーロケ無線を受信しました。」	"ポーン"「カーロケ接近中注意してください。」	"ポーン"「カーロケ遠ざかりました。」
GPSランプ	早い点滅			

3 取締り用連絡無線(350,1MHz)

取締り用連絡無線(350,1MHz)とは?

取締り用連絡無線(350,1MHz)とは取締り用連絡無線で使用する周波数帯で、速度違反取締り等で使用する事があります。通話内容をコード化したデジタル無線方式を使用するケースもあり、音声の受信ができません。

350.1MHzの電波を受信すると・・・・



音声内容	GPSランプ
"ポーン"「350,1メガ 受信しました。注意してください。」	早い点滅

4 署轄系無線受信

署轄系無線とは?

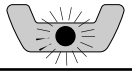
署轄系無線とは、パトロール中の警察官が警察本部や他の警察官との連絡用として使用している無線交信で134chの電波を受信します。

音声内容	GPSランプ
"ポーン"「署轄系無線を受信しました。注意してください。」	早い点滅

5 デジタル無線受信

デジタル無線とは？

デジタル無線とは、各警察本部と移動局（緊急車両等）とが行う無線交信で、159MHz帯～160MHz帯で約53chの電波を受信します。通話内容がコード化（デジタル化）されており通話内容を聞く事はできませんが、音声とランプで警報を行い付近を走行する緊急車両の走行を妨げないよう安全な回避を促します。

音声内容	GPS ランプ
”ポーン” 「デジタル無線を受信しました。注意してください。」	早い点滅 

6 WIDE（ワイド）無線受信

WIDE（ワイド）無線とは？

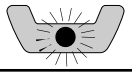
WIDE（ワイド）無線とは、Wireless Integrated Digital Equipmentの略称。336～338MHz帯を使用している警察専用の自動車携帯電話システムのこと。移動警察電話（移動警電）とも言います。

音声内容	GPS ランプ
”ポーン” 「ワイド無線を受信しました。注意してください。」	早い点滅

7 警察活動無線受信

警察活動無線とは？

警察活動無線とは、主に162MHz帯を使用している機動隊が災害活動や行事に使用する無線です。

音声内容	GPS ランプ
”ポーン” 「警察活動無線受信しました。注意してください。」	早い点滅 

15. 製品仕様

レーダー本体

■電源電圧　DC12V 専用
■サイズ　約 62×90×30mm（コード除く）
■消費電流　最大約150mA
■充電時間　約５時間
■連続動作時間　約９時間～11時間程度（※使用状況により異なります。）
■作動温度範囲　−10 ～ +60℃
■充電用コードヒューズ　1A

〈GPS 部〉
■受信方式　12ch パラレル方式
■受信周波数　1.5GHz 帯
■測位更新時間　最短１秒

〈レーダー受信部〉
■受信方式　ダブルスーパーヘテロダイン
■受信周波数　X バンド、10.525GHz

〈６バンド無線受信部〉
■受信周波数
［カーロケ］　407MHz 帯
［取締り用連絡無線］　350.1MHz
［署活系無線］　347MHz～362MHz 帯
［デジタル無線］　159MHz～160MHz 帯
［WIDE 無線］　336MHz～338MHz 帯
［警察活動無線］　162MHz 帯

Bluetooth 部

■規格　Var.2.1+EDR
■使用周波数帯　2.4GHz 帯
■出力　Class2
■対応プロファイル　HSP
■PIN コード　「0000」（ゼロが４つ）

16. 補修パーツのご紹介

部品番号	名　称	価格（税込み）	数　量
MP-129	アンテナベース（ミラーステー）	￥　210	1ヶ
MP-191	AC100V 用充電器	￥3,675	1ヶ
MP-192	DC12V 用充電コード	￥1,575	1ヶ
MP-236	内蔵バッテリー（お預かりして交換）	￥4,200	1ヶ
MP-194	カウルステーセット	￥　840	1セット
MP-195	デュアルロックセット（デュアルロック（粗）×2／デュアルロック（細）×2）	￥　787	1セット

●登録データ最新バージョンへの書き換え（税込￥5,250）

GPSポイントの登録データのバージョンアップ（書き換え）については弊社にお問い合わせ下さい。

14. その他の機能

1 AAC（オートアラームカット）機能

GPS機能を使用して算出した自車の走行速度が40km/h以下の場合、AAC機能が作動して警告音をカットします。
※AAC機能はGPS測位時のみ機能します。

時速	40km以下		40km以上	
	レーダー本体	受信機	レーダー本体	受信機
レーダー波	ワーニングランプ点滅	カットされます	ワーニングランプ点滅	警告音
GPS ポイント	GPS ランプ点 滅	音声警告	GPS ランプ点滅	音声警告
６バンド無線	GPS ランプ点 滅	音声警告	GPS ランプ点滅	音声警告

2 ATD（オートトーンダウン）機能

レーダー波やステルス波を受信し続けると、約15秒後に警告音を自動でボリュームダウンします。
※音声出力端子からの音は、この機能は働きません。

3 時 報 機 能

毎正時ごとに”○時になりました”と音声案内します。
※時報機能はGPS測位時のみ機能します。

17. 故障かなと思ったら・・・

症　状	要　因	対　策	参照ページ
電源が入らない。	○内蔵バッテリーが消耗していませんか？	●充電を行ってください。	7～8
充電しても動作時間が短い。	○内蔵バッテリーの寿命での可能性があります。	●内蔵バッテリーを交換してください。	31
電源が切れてしまう。	○オートパワーオフ機能が働いていませんか？	●オートパワーオフ機能をOFFにしてご使用ください。	18～19
オートパワーオフ機能で電源が切れない。	○振動や騒音の激しい場所に駐車していませんか？	●振動や騒音の少ない場所に停車してください。 ●電源スイッチで電源を切ってください。	
充電ができない。	○充電端子に正しく電源コードが接続されていますか？	●奥までしっかりと差し込んでください。	7～8
	○AC100V 用充電器が壊れている可能性があります。	●ご相談ください。	
	○DC12V 用充電コードがバッテリー又はコードから外れていませんか？	●正しく接続してください。	
	○DC12V 用充電コードのヒューズが切れていませんか？	●ヒューズを交換してください。	9
GPS 衛生受信をしない。（測位しない）	○本体の周辺にGPS電波を遮断する物がありませんか？	●取付位置を変更してください。	13～17
	○ビルの谷間や高架線などGPSを受信しにくい場所ではありませんか？	●GPSを受信し易い場所へ移動してください。	
取締機があるのに警告をしない。	○本体の周辺にGPS電波を遮断する物がありませんか？	●取付位置を変更してください。	
	○ビルの谷間や高架線などGPSを受信しにくい場所ではありませんか？	―――	
	○速度違反の取締機ではない場合があります。	―――	
	○新しく設置されたオービスの可能性があります。	●データ更新サービスをご利用ください。	31
道路に警察署が無いのに警報する。	○同一道路上の警察署だけでなく近くの道路にある警察署を警告します。	―――	25
近くにパトカーがいてもカーロケ受信を警告しない。	○対象はカーロケーターシステム搭載の緊急車両でない場合があります。	●一部地域または、一部緊急車両にはカーロケーターシステムが装着されていない為、受信しない場合があります。	27
	○受信タイミングがズレている	●カーロケ波は瞬欠で送信される為、受信タイミングがズレることがあります。	
12V 電源コードのヒューズが頻繁に切れる。	○端子が金属への接触やコードの破損等でショートしている	●ジャックを外した時はジャックにキャップを取り付け、金属に触れないようにしてください。 ●コードの破損、断線等が無いか確認してください。	8

17. 故障かなと思ったら・・・

Bluetoothについて

症　状	要　因	対　策	参照ページ
ペアリングができない。	○プロファイル、PINコードが異なる機器ではありませんか?	●プロファイル、PINコードの合っている機器をご用意ください。	10〜11
	○ペアリングモードになっていますか?	●ボタン操作を確認してください。	12
	○稼動している他のBluetooth機器がありませんか?	●他のBluetooth機器の電源をお切りください。	10･12
	○本機と相手側機器が離れていませんか?	●本機と相手側機器を近付けてください。	12
スピーカーから音が出ない、または音が小さい。	○相手側機器の電源が入っていない、または切れていませんか?	●相手側機器の電源を入れてください。	–
	○相手側機器のボリュームが小さくなっていませんか?	●相手側機器のボリュームを大きくしてください。	–
フリーズした。		●リセットボタンを押し、システムを初期化してみてください。(再ペアリングが必要な場合があります。)	19

18. 本品に関するご連絡・ご相談先

TANAX タナックス株式会社
TEL:04-7150-2450(月〜金 9:00〜18:00)
〒270-0151　千葉県流山市後平井 107-3
http://www.tanax.co.jp